

1年芸術：美術（MYP 2 Art : Visual arts）【美術：1，3単位】

科目のねらい

- ・ 生涯にわたって芸術とのかかわりを楽しむ
- ・ さまざまな時代、文化、文脈にわたって芸術を探究する
- ・ 芸術とその文脈の関係性を理解する
- ・ 芸術の創作や実演に必要なスキルを培う
- ・ アイデアを創造的に表現する
- ・ 若い芸術家としての自分の成長を振り返る

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A … 調 査	i. 探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する
	ii. 選択したムーブメントまたはジャンルの芸術作品やパフォーマンスを批評する
B … 発 展	i. 実践的にアイデアを探究し、芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす
	ii. 最終的な芸術作品やパフォーマンスについて、芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する
C … 創 作 ・ 実 演	i. 芸術作品を創作または実演する
D … 評 価	i. 自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する
	ii. 芸術家としての自分の成長を振り返る

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Art guide」に基づいています。

関連概念（美術の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
プレゼンテーション	表象	様式	視覚文化

※目標と評価規準は MYP 芸術 3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 文化 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、協働、整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー、批判的思考、創造的思考、転移	「木と親しむ暮らし」 「木でつくる・金属でつくる・石でつくる」 A 表現 (1) イ(ウ) B 鑑賞 (1) ア(イ) イ(ア) 共通事項ア 教材 木材 木粉粘土 彫刻刀、糸鋸、ヤスリ、塗料 光村図書 美術1 光村図書 美術1資料	「レポート」【A】 レポート「未来の暮らしにおいて、木工芸の技術はどのように役立つと考えるか？」(A i)。その知識を元に自分の身の周りにある木材の良さを生かした製品や工芸品の鑑賞を行い、鑑賞能力や作品分析について評価する(A ii)。 「作品」【C】 完成した作品から、技能面(切断、整形、表面処理、デザインの再現度)を評価する。 「プロセスジャーナル(総括的評価課題自己評価)【D】 プロセスジャーナルに、自身の芸術作品とその表現についての振り返りを毎授業記述する(D i)。 自身の作品とプロセスジャーナルを振り返り、自分の成長について記述したものを評価する(D ii)。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表現力A ③主体的に学習に取り組む態度D 2. A 4
	4	1. 変化 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、創造的思考、転移	「響き合う形と色」 「アクリル絵の具で描く・さまざまな描き方」「色の特徴」「色の効果と配色」 A 表現 (1) ア(ア) B 鑑賞 (1) ア(ア) 共通事項ア 教材 アクリル絵の具 光村図書 美術1 光村図書 美術1資料	「キャプション(B ii)」【B】 自身の作品解説(キャプション)に、芸術的意図(水彩技法、配色の意図、構図など)を具体的に記述し、「音をどのように色や形でイメージしたか」を説明できているか評価する。 「デザインシート(B i)」【B】 複数の課題曲から1曲選択し、音楽から得たイメージを構成したアイデアシートを評価する。 「作品」【C】 平滑塗りの技法を用いた作品の技能を評価する。 「プロセスジャーナル(総括的評価課題自己評価)【D】 プロセスジャーナルに、自身の芸術作品とその表現についての振り返りを毎授業記述する(D i)。 自身の作品とプロセスジャーナルを振り返り、自分の成長について記述したものを評価する(D ii)。	1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力B ③主体的に学習に取り組む態度D 2. B 9
後期 (10月～3月)	6	1. 美的感性 2. 空間的・時間的位置づけ 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー、批判的思考、創造的思考、転移	「「体感ミュージアム」「ムラン・ド・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう」 A 表現 (1) イ(イ) B 鑑賞 (1) イ(イ) 共通事項ア 教材 光村図書 美術1	「レポート」【A】 レポートの記述から、条件に合ったテーマ設定、調べた内容の詳細な記録、情報量を評価する(A i)。 選択した芸術家の作品を一点選び鑑賞・分析する(A ii)。 「展覧会企画書」【B】 レポートで調べたことを元に、他者に内容を紹介するとき、より多くの人に関心を持ってもらうためにはどのようなテーマで構想を練っているかを展覧会企画書(B ii)、レイアウト、パンフレットのアイデア(B i)を評価する。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表現力A ③主体的に取り組む態度B 2. D 2 1